

CiscoWorks Internetwork Performance Monitor CORBA GIOP オーバーフロー脆弱性

Critical アドバイザリーID : cisco-sa-[CVE-20100120-ipm](#)
初公開日 : 2010-01-20 16:00 [2010-0138](#)
バージョン 1.0 : Final
CVSSスコア : [10.0](#)
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Microsoft Windows オペレーティングシステムのための CiscoWorks Internetwork Performance Monitor (IPM) バージョン 2.6 および それ 以前はリモート非認証攻撃者が任意のコードを実行することを可能にする可能性があるバッファオーバーフローの脆弱性が含まれています。この脆弱性に対する回避策はありません。

このアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20100120-ipm> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

ウィンドウズオペレーティングシステムのための CiscoWorks IPM バージョン 2.6 および それ以前は影響を受けています。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

Windows および Solaris オペレーティングシステムの Sun Solaris および CiscoWorks IPM バージョン 4.x のための CiscoWorks IPM バージョン 2.x は影響を受けていません。他のシスコ製品において、このアドバイザリーの影響を受けるものは現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2010-January-20	初版リリース
--------------	-----------------	--------

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。